

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数       |
|--------------------------------|-----------|
| 理念に基づく運営                       | <b>11</b> |
| 1. 理念の共有                       | 2         |
| 2. 地域との支えあい                    | 1         |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3         |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3         |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2         |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援              | <b>2</b>  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1         |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1         |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント       | <b>6</b>  |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1         |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2         |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1         |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2         |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援          | <b>11</b> |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9         |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2         |
| <b>合計</b>                      | <b>30</b> |

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 事業所番号 | 4674000106             |
| 法人名   | 有限会社 あかつき居宅介護支援センター    |
| 事業所名  | 指定認知症対応型共同生活介護 しびの里事業所 |
| 訪問調査日 | 平成21年11月18日            |
| 評価確定日 | 平成22年1月12日             |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま        |

**項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月21日

## 【評価実施概要】

|       |   |
|-------|---|
| 事業所番号 | 4674000106                              |
| 法人名   | 有限会社 あかつき居宅介護支援センター                     |
| 事業所名  | 指定認知症対応型共同生活介護 しびの里事業所                  |
| 所在地   | 鹿児島県薩摩郡さつま町紫尾2140-1<br>(電話)0996-59-8805 |

|       |                      |       |            |
|-------|----------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま      |       |            |
| 所在地   | 鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号 |       |            |
| 訪問調査日 | 平成21年11月18日          | 評価確定日 | 平成22年1月12日 |

【情報提供票より】(21年9月18日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |           |                           |     |
|-------|-----------|---------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成12年4月1日 |                           |     |
| ユニット数 | 1 ユニット    | 利用定員数計                    | 9 人 |
| 職員数   | 8 人       | 常勤 3 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 7 人 |     |

### (2) 建物概要

|      |          |      |      |
|------|----------|------|------|
| 建物構造 | 木造モルタル造り |      |      |
|      | 2階建ての    | 1階 ~ | 2階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                  |                |       |       |
|---------------------|------------------|----------------|-------|-------|
| 家賃(平均月額)            | 20,000 ~ 25,000円 | その他の経費(月額)     | 円     |       |
| 敷金                  | 有(円)             | 無              |       |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有(円)             | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 / 無 |       |
| 食材料費                | 朝食               | 200 円          | 昼食    | 300 円 |
|                     | 夕食               | 500 円          | おやつ   | 円     |
|                     | または1日当たり         | 1,000 円        |       |       |

### (4) 利用者の概要(9月18日現在)

|       |         |         |     |         |     |
|-------|---------|---------|-----|---------|-----|
| 利用者人数 | 8 名     | 男性      | 3 名 | 女性      | 5 名 |
| 要介護1  | 3 名     | 要介護2    |     | 3 名     |     |
| 要介護3  |         | 要介護4    |     | 1 名     |     |
| 要介護5  | 1 名     | 要支援2    |     |         | 名   |
| 年齢    | 平均 84 歳 | 最低 74 歳 |     | 最高 97 歳 |     |

### (5) 協力医療機関

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 協力医療機関名 | 木原医院 たきかわ歯科医院 さくらクリニック |
|---------|------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然豊かな紫尾温泉街の一角に旅館を改装し建物に工夫を加え、安全に生活できるホームとなっている。昼間は1階の大広間に寝たきりの利用者のベッドを持ち込んだり、他の利用者も寒い時期はコタツを囲んだり、全員が思い思いに語り合い、テレビやカラオケを楽しんでいる。毎日、いつでも入浴できる環境の中、大浴場・小浴場では見守りと介助支援により、温泉を満喫している。2階の居室は就寝のみに使用、お互いが助け合いの生活を送っている。管理者、職員は安全第一の見守りを重視し、利用者の今までの生活を出来るだけ継続できるよう支援している。職員は利用者本位に取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

|      |  |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)   |
|      | <p>前回はコメントのみで改善課題はあがっていないが、ホームの理念達成をめざし日々努力している。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者を中心に職員全員で自己評価に取り組んでいる。自己評価、外部評価の結果は家族にも配布、運営推進会議でも報告している。</p>              |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的に利用者の家族、地域住民の代表、民生委員、行政、医師、警察官の参加の下、多方面からの情報、意見を貰いサービス向上に活かしている。参加者より施設のアピール不足の指摘をうけ、運営者がパイプ役となり地域との関わりを深めている。</p> |
| 重点項目 | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>重要事項説明書にも苦情受付窓口を明記している。家族が意見を言いやすいように配慮し、出された意見・要望については職員間で話し合い、対応している。</p>   |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域住民とは日常的に挨拶や声掛けを行っている。住民より介護の相談を受けたり、連絡をもらったりしている。花見や神社祭、夏祭りなどの行事に参加している。保育園児の訪問やボランティアの訪問がある。運営者をはじめ職員も地域との交流を大切にしている。</p>          |

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ( 印 ) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|--|-------|-----------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b>     |    |  |  |       |                                   |
| 1. 理念と共有              |    |  |  |       |                                   |
| 1                     | 1  | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 今までの生活を地域の中でその人らしく継続することを目指した事業所独自の理念をつくりあげている。  |       |                                   |
| 2                     | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | パンフレット、重要事項説明書にも明記している。厨房、事務所、玄関など目につく所に掲示し、月1回の職員会議や日々のケアの中でも理念について話し合っている。   |       |                                   |
| 2. 地域との支えあい           |    |  |  |       |                                   |
| 3                     | 5  | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 地域住民とは日常的に挨拶や声掛けを行っている。住民より介護の相談を受けたり、連絡をもらったりしている。花見や神社祭、夏祭りなどの地域行事に参加している。保育園児の訪問やボランティア、踊りの披露などの訪問がある。運営者をはじめ職員も地域との交流を大切にしている。 |       |                                   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |  |  |       |                                   |
| 4                     | 7  | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 管理者を中心に職員全員で自己評価に取り組んでいる。自己評価、外部評価の結果は家族にも配布し、運営推進会議でも報告している。  |       |                                   |
| 5                     | 8  | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 定期的に利用者の家族、地域住民の代表、民生委員、行政職員、施設協力医療機関、警察署の参加の下、多方面からの情報・意見を貰い、サービス向上に活かしている。地域代表の方から施設のアピール不足の指摘をうけ、運営者がパイプ役となり地域との関わりを深めている。      |       |                                   |

| 外部              | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|-----|-----------------------------------|
| 6               | 9  | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 生活保護受給の利用者もいるため市町村の担当者とは話し合う機会を持っている。困難な事例や法令など分かりやすい説明をもらい、ホーム運営に反映できている。   |     |                                   |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |   |  |     |                                   |
| 7               | 14 | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 毎月、請求書を送付する際に利用者の写真とともに一筆添えて状況報告をしている。金銭管理は個々に出納帳を作成し、コピーを送付、来訪時に印鑑をもらっている。年2～3回、職員紹介も送付している。毎月1回のホーム便りを発行し、家族に送付している。 |     |                                   |
| 8               | 15 | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 重要事項説明書にも苦情受付窓口を明記している。家族が意見を言いやすいように配慮し、出された相談・要望については職員間で話し合い、対応している。  |     |                                   |
| 9               | 18 | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 個々の利用者にとって心を開く職員がいることを大事にしている。職員の異動の際は、利用者のダメージを防ぐよう配慮している。  |     |                                   |
| 5. 人材の育成と支援     |    |   |  |     |                                   |
| 10              | 19 | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 研修計画は無いが外部研修には全職員が交代で積極的に参加している。ホーム内で研修報告をし、職員全員が共有している。ホーム内研修は管理者が個別に指導している。資格取得の支援もしている。                             |     | 年間研修計画をたて、事業所内の定期研修について検討が望まれる。   |
| 11              | 20 | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 管理者や職員は同業者との交流があり、情報交換や相談連携を行いながらサービスの質の向上に努めている。  |     |                                   |

| 外部                                | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| <b>. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |  |  |     |                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応         |    |  |  |     |                                   |
| 12                                | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>本人のホーム見学を基本とし、納得したうえでの入居となる。自宅訪問など行い利用者が何を求めているか、理解することを大事にしている。1日体験入所も可能である。</p>                     |     |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援         |    |  |  |     |                                   |
| 13                                | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                      | <p>掃除、料理、大工仕事、カラオケ、踊りなどそれぞれの利用者の役割、出番を作り必要とされているという実感が持てるように支援している。一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽をともにし、支えあう関係を築いている。</p> |     |                                   |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |  |     |                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                       |    |  |  |     |                                   |
| 14                                | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>   | <p>本人の意向を第一に考え、家族からの要望などを聞いて支援している。また、利用者の表情や動きから思いを汲み取るように努めている。</p>                                    |     |                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し    |    |  |  |     |                                   |
| 15                                | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>        | <p>本人、家族の意向を聞いて職員と話し合いながら主治医の意見も取り入れた介護計画を作成している。</p>  |     |                                   |
| 16                                | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>    | <p>6ヵ月毎の見直しを基本としているが日々の状況把握に努め、毎月現状に即した介護計画であるかを点検し、状況の変化に応じて介護計画の修正をしている。</p>                           |     |                                   |

| 外部                          | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |    |  |  |     |                                   |
| 17                          | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 状況に応じて通院・送迎・自宅訪問・墓参りなど必要な支援は柔軟に対応している。家族の宿泊にも対応している。                             |     |                                   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |    |  |  |     |                                   |
| 18                          | 43 | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 本人・家族の希望するかかりつけ医での受診を定期的に行っている。必要に応じて適切な医療が受けられるよう、医療機関との連携をとっている。               |     |                                   |
| 19                          | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居時に意向を確認している。本人・家族・職員・医療機関で一番良い方法を状況に応じて話し合い、方針を共有している。個々に応じて誓約書を作成し、同意書を貰っている。 |     |                                   |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援     |    |  |  |     |                                   |
| 1. その人らしい暮らしの支援             |    |  |  |     |                                   |
| (1) 一人ひとりの尊重                |    |  |  |     |                                   |
| 20                          | 50 | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 個人情報の管理に努め、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないようにさりげない声掛けや対応に配慮している。                         |     |                                   |
| 21                          | 52 | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 利用者が何でも話せる環境を提供し、本人の意思決定の下にその日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している。                         |     |                                   |

| 外部                            | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |  |   |      |                                   |
| 22                            | 54 | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 利用者の嗜好や食べたいものを取り入れた献立を作成している。利用者一人ひとりの出来ることを大切に食事の準備・片付けなど職員と一緒にやっている。大広間で職員、利用者が会話を楽しみながら食事を取っている。                                   |      |                                   |
| 23                            | 57 | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 体調を確認したうえで、見守りで毎日入浴できる。障害のある方も小浴場を利用、職員数名で入浴介助している。   |      |                                   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |  |   |      |                                   |
| 24                            | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の出来ること、出来ないことを見極め、菜園・掃除・カラオケ・手踊りなど役割や趣味を持って生活している。またテレビの野球・相撲・時代劇鑑賞や買いもの・ドライブも楽しんでいる。花見・誕生会・節分・ひな祭り・クリスマス・餅つきなど季節に応じた気晴らしの支援をしている。 |      |                                   |
| 25                            | 61 | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 散歩や買いものなど日常的に外出している。毎月のドライブ、季節ごとの行事などの外出支援をしている。  |      |                                   |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |  |   |      |                                   |
| 26                            | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 日中は鍵をかけていない。動向を把握し、利用者に合った見守りを重視している。地域住民の協力もあり連携がとれている。  |      |                                   |
| 27                            | 71 | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 年2回夜間想定避難訓練を実施している。地区の防災無線でも放送し、地域住民へ協力を依頼をしている。非常食などの備蓄もある。  |      |                                   |

| 外部                        | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |  |   |     |                                   |
| 28                        | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事や水分の摂取量を把握、記録し、定期的に栄養バランスの助言を得ている。嗜好調査をし、好みのものに代用することや個々に応じて食事形態を工夫している。月1回体重測定を実施している。                               |     |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |  |   |     |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |  |   |     |                                   |
| 29                        | 81 | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 大広間はステージ付きで日当たりも良く、時節の花々が飾られ温かい雰囲気がある。コタツやベッドを持ち込み昼間は利用者全員が大広間で過ごしている。トイレは和式以外にポータブルトイレを準備、階段にはリフトを取り付け高齢者に配慮した工夫をしている。 |     |                                   |
| 30                        | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 畳部屋で広さは個々により異なっている。ベッドを入れたり、なじみの物を置いたりして利用者が居心地よく過ごせるよう、工夫している。   |     |                                   |